

2023年4月21日

立教セカンドステージ大学 同窓会会員の皆さま

【ご挨拶】

平素から会員の皆様には同窓会へのご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、例年5月に開催します同窓会会員総会、並びに講演会はコロナ禍により2年に亘り開催中止を余儀なくされましたが、昨年3年ぶりに対面形式で開催いたしました。

今年も感染予防対策を実施した上で、会員総会、並びに講演会を対面形式で開催いたします。会員の皆さまには総会・講演会にご参加いただけますように何卒宜しくお願い申し上げます。尚、懇親会につきましては、コロナウイルスは5類に引き下げられましたが、会場で食事する際の会話自粛などの制限は残っていることから、屋内での感染リスクを考慮いたしまして今年も開催を見送ることにいたします。何卒ご理解賜りたくお願い申し上げます。

就きましては、会則第15条（会員総会）に基づき、本年4月20日付の役員会において審議・承認されました会員総会資料をお送りいたします。

尚、現在もコロナ感染症が終息しておらず、大学への入構や構内での行動制限等につきましては、立教大学の予防ガイドラインに従い改めてご連絡させていただきます。

総会議長 立教セカンドステージ大学同窓会会長 鎌倉利博

決議事項

- (1) 第1号議案 2022年度事業報告
- (2) 第2号議案 2022年度決算報告および監査報告
- (3) 第3号議案 2023年度事業計画および予算（案）
- (4) 第4号議案 同窓会会則の改定
- (5) 第5号議案 役員を選任承認（会則10条）

報告事項

- 報告事項1. 2023年度の役員・委員、退任の役員・委員、及び顧問の紹介（会則12条）

決議事項

(1) 第1号議案：2022年度事業報告

2022年度（2022年4月～2023年3月）は、次の事業を実施いたしました。

2022年度は新型コロナウイルス感染症の終息がみえませんでした。十分に感染リスクを注意した上で、対面での活動ができるようになりました。立教セカンドステージ大学も対面とオンラインを組み合わせたミックス型授業が実施されました。同窓会でも対面形式での活動を開始し、5月に総会・講演会を開催、10月に立教大学ホームカミングデーへ参加し講演会ライブ配信などに積極的に取り組みました。また、役員会は従来通り月1回の頻度で年間10回開催いたしました。

1) 第14回会員総会・講演会の開催

2020年1月に発生しました新型コロナウイルス感染症の拡大により、2020年2021年は開催中止としメールにて報告、承認とさせていただきました。2022年は3年ぶりに対面での開催を5月20日太刀川記念館において実現することができましたが、コロナ禍での開催のため、大学からの要請もあり、参加者の事前登録や会場以外の構内立ち入り禁止、懇親会の中止など厳しい条件下での開催でした。また、コロナ禍で会場に来られない会員向けに、総会・講演会のライブ配信・アーカイブ配信を実施いたしました。

2) 秋のホームカミングデーへの参加

10月16日に立教大学と校友会が主催するホームカミングデー（HCD）に参加いたしました。同窓会では当日の企画として、「大野久先生の講演会」「修了生による論文発表会」「研究会・同好会の発表会」を催し、「西原総長を初めとする先生からの寄稿文」「会員から募集した投稿」をホームページに掲載いたしました。当日の発表会・講演会には多くの修了生、現役受講生が来場し、たいへんな盛況ぶりでした。さらに講演会は会場からの同時中継とその後のアーカイブ配信を実施し、たくさんの会員に視聴していただきました。

3) 15期生同窓会加入の勧誘

2022年4月に入学した15期生に対して新規勧誘活動を行った結果、入学者103名に対し91名が加入しました。またその他の期から7名の加入がありました。

4) 役員の変更

本年度の新役員は報告事項の通り、会長および副会長2名、専門委員長4名、監事2名が退任となり新しく8名の役員が就任いたしました。そのうち14期生からは4名が新任役員となりました。

(2) 第2号議案： 2022年度決算報告および監査報告

15期生91名をはじめ新たに98名が加入されたことから入会金収入は予定より増加することができました。一方、支出は総会、ホームカミングデーの配信費用及びHP維持管理に関わる費用が増加したことから、次年度繰越金は前期より74,543円減となりました。

なお、当決算報告は監事より適正との会計監査を受けております。

2022年度決算報告書（2022年4月1日～2023年3月31日）

頭書の件、下記の通りご報告申し上げます。

立教セカンドステージ大学同窓会

財務委員長 中野 克己

(金額単位：円)

収入の部		支出の部	
前期繰越額	1,268,775		
15期生新規会費 *1	455,000	総会費用（配信他）	121,801
10～14期生新規会費 *2	35,000	立替金	3,000
寄付金	28,200	Web維持管理費	221,429
立替金	3,000	HCD費用（配信他）	160,492
受取利息	9	HCD講演会講師謝礼	30,000
		会場費	33,300
		事務用品・備品費	1,420
		支払手数料	2,200
		ZOOM使用料	22,110
収入合計	1,789,984	支出合計	595,752
		次期繰越額	1,194,232

*1 91名入会 三菱UFJ銀行残高 1,044,232円

*2 10、11、12、13期各1名、14期3名入会 ゆうちょ銀行残高 150,000円

合計 1,194,232円

2022年度会計監査報告書（2022年4月1日～2023年3月31日）

2022年度の会計監査を実施した結果、帳簿の記載は正確で、関係書類並びに会計処理はすべて適正であり、決算書に相違ないことを認めます。

2023年4月11日 監事 青田 主税 印

2023年4月11日 監事 宮本 明義 印

(3) 第3号議案：2023年度事業計画および予算（案）

1) 2023年度事業計画（2023年4月1日～2024年3月31日）

『基本の考え方』

コロナ禍は3年を超えましたが、様々な行動制限が緩和の方向に向かい、社会全体が徐々に元の姿を取り戻しつつあります。RSSC同窓会活動も総会、講演会、HCDといったイベントの中止を余儀なくされるなど大きく影響を受けましたが、昨年度は、制限は多々ありながらも、対面形式での開催をすることができました。

一方でこの間、社会のデジタル化が急速に進展し、社会環境や常識は大きく変化しました。私たちシニア世代も例外ではなく、同窓会ではオンラインを積極的に取り入れた活動をしてまいりました。結果、様々な形での人とのつながりも増え、その可能性を実感することとなりました。

今年度のRSSC同窓会活動は、引続きコロナの感染対策に注意を払いながらも、基本的に対面形式での企画を中心に据えていきたいと考えております。同時に、オンライン形式を活用した企画により、多様な形での参加機会の提供も推し進めます。それにより、会員相互の交流の機会を増やし、活動の場を広げ、時代に対応した新しい同窓会活動の形を創り上げることを目指します。

今年はRSSC直近の修了生15期生から多くの皆さまを同窓会にお迎えすることができました。オンラインに慣れ親しんだ新しい会員が増えることで同窓会活動がさらに活性化することを期待するとともに、会員の皆さまが相集い親しく交流を深める場となるよう努めてまいります。

『具体的計画』

① 総会、講演会

総会および講演会は対面方式で開催いたします。事業計画、収支予算等の事項について出席者の過半数をもって承認するという会員総会の本来の主旨に則り、来場いただくことを基本といたします。そのため会場からのライブ配信は実施いたしません。大学も以前の日常を取り戻しつつあります。総会、講演会に多くの会員の皆さまのご来場をお待ちしております。なお懇親会につきましては、大学側のコロナ対応での活動制限が未だ継続していることから残念ではありますが中止といたします。

② 秋のホームカミングデーへの参加

今年度も昨年度同様に、対面での開催を図り、ホームカミングデーに相応しい魅力ある企画の提供を検討してまいります。またオンライン方式の企画も組合せて、双方の利点を活かした最善かつ可能な提供方法を模索してまいります。

- ③ 会員への情報発信
 メールリングリストを活用し、会員相互の交流の場を提供いたします。また、メールマガジンをより一層充実させ、活動への理解深耕を図ってまいります。
- ④ ホームページの充実
 広く一般の皆さまにも活動内容を知っていただくために、同窓会ではホームページを開設し、様々な情報を提供してまいります。ホームページの場を通して同窓会のみならず立教セカンドステージ大学へのご理解を深めていただくことにも寄与してまいります。
- ⑤ 新規会員獲得
 同窓会紹介等を適宜実施し、活動への理解と入会促進に取り組みます。
- ⑥ 寄付金募集
 同窓会活動は皆さまの会費から成り立っています。寄付金は通年募集といたしますので、引き続き会員の皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

2) 2023 年度予算案 (2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前期繰越額	1,194,232		
入会費 (注 1)	350,000	Web 維持管理費 (注 3)	258,000
寄付金 (注 2)	30,000	Youtube 管理費	5,500
受取利息	10	HCD 費用 (配信費他)	183,000
		講師謝礼	60,000
		会場費	35,000
		事務用品・備品 (コピー代)	2,000
		支払手数料	3,000
		予備費	20,742
収入合計	1,574,242	支出合計	567,242
		次期繰越額	1,007,000

(注 1) 16 期生 70 名×5,000 円 ※2023 年度入学者数 16 期生 87 名

(注 2) 2022 年度実績 28,200 円 (総会、HCD)

(注 3) ホームページ維持費用 (前期実績の 15%アップ値上げを想定)

(4) 第4号議案：会則改定

同窓会が更に安定して継続的に運営されるために、同窓会会則の一部を改定いたします。改定箇所は以下の赤字部分になります。

尚、今回の改定は、会則第21条役員会審議⑤「会則の改定」に基づき、2022年12月15日に開催された役員会で審議決定され、会則第15条会員総会審議に則して、会員総会に付議するものです。

第9条 本会の役員は下記の通りとする。

会長	1名
副会長	3名以内(2名)
専門委員長	各専門委員会に1名
監事	2名

第10条 役員を選任

役員は原則、本科修了後2年以内の会員より選出する。

但し、会長、副会長(追加)、並びに監事は会員総会における承認を条件として例外を認める。

第11条 会長、副会長、専門委員長、監事を選任

2. 副会長および専門委員長は会長が役員、委員(追加)の中から適任と認められる者を任命する。

第14条 役員任期について

3. 専門委員会委員長の任期は1年とし、委員長の任期到来時には原則(追加)前年度の副委員長がその職務を引継ぐものとする。

第24条 専門委員会の組織ならびに所掌事務について

副委員長は本科修了後1年以内(未満)のものが務めるものとし、また各専門委員会に

おける各委員は2名を上限とし(削除)本科修了後2年以内(1年未満)のものが務める。

第31条 財務委員長の支払権限限度額(現行1万円)

会務遂行に必要な経常的支払いについては、1件10万円を限度に財務委員長に権限を委譲する。

尚、1件10万円を超える支払については会長の承認を要する。

附則

~~2019年の会則変更に伴う移行措置~~(全て削除)

(5) 第5号議案：役員を選任承認（会則10条）

会則第10条（役員を選任）により、鎌倉会長、福田副会長、佐藤副会長、三井監事、中野監事の役員選任が会則で規定された本科修了後2年を超えるため、総会の承認を求めます。

報告事項

報告事項1. 2023年度役員・委員、退任役員・委員、顧問の紹介

*敬称略

2023年度は、次の方々が新役員・委員に就任されます。

会 長	鎌倉利博（12期）		
副会長	佐藤眞里子（11期）	福田 剛（12期）	橋本 修（14期）
総務委員長	山崎訓由（14期）		
副委員長	佐藤靖子（15期）		
総務委員	櫻井智仁（15期）	志水直樹（15期）	
財務委員長	白川政明（14期）		
副委員長	遣澤健一（15期）		
財務委員	木村昌幸（15期）	波多野きよ子（15期）	
広報委員長	中田克己（14期）		
副委員長	柏木 勉（15期）		
広報委員	小関栄一（14期）	井上雄二（15期）	猪俣みちよ（15期）
	中川與和（15期）	本間浩三（15期）	
事業委員長	橋本 修（14期）	副会長兼務	
副委員長	多田和彦（15期）		
事業委員	石塚達郎（14期）	赤井里夏（15期）	石川昌平（15期）
	石坂清司（15期）	齊藤章子（15期）	高橋多美子（15期）
	本田恵子（15期）		
監事	中野克己（12期）	三井秀俊（13期）	

「顧問の紹介」

1期～14期の期生会の顧問は以下の通りです。

1期生 白井誠一

2期生 秋吉秀人

3期生	神山 利	4期生	大戸澄子
5期生	大塚友子	6期生	今田悟史
7期生	木村栄作	8期生	亀山哲男
9期生	安河内貴志	10期生	山本順子
11期生	松澤順一	12期生	高野雄太
13期生	佐藤敏也	14期生	茂木直人

「退任役員・委員の紹介」

次の方々が役員・委員を退任されます。

木村克俊（会長）、高野雄太（広報委員長）、庄野朋子（事業委員長）、
 青田主税（監事）、宮本明義（監事）、河村宣幸（総務副委員長）、
 堀 晴美（HP運営委員）、土屋秋子（HP運営委員）、加藤美鈴（財務委員）、
 門脇重光（事業副委員長）、大谷文敏（事業委員）、小幡道宏（事業委員）、
 小島英彦（事業委員）

以上